

**従来型施設における個別ケアの
充実に向けた取り組みによる
利用者の変化に関する研究**

環境づくりからのアプローチによる
個別ケアへの取り組み

特別養護老人ホーム 南陽園
中村 靖

※発表にあたっては、ご利用者および
ご家族の承諾を得ています

特別養護老人ホーム
南陽園5階

ひなたリビング
日中の様子

なごみリビング
日中の様子

今回のテーマに取り組んだ背景と経緯

帰宅願望

徘徊

フロア全体が
落ち着かない

個別ケアを行うことができない

5階フロア見取り図

テラス

Bゾーン

510 511 512 514 515 516

Aゾーン

507 506 505 503

リビング

個室

環境づくり実施前の職員アンケート

1つのリビングにほぼ自立されて日常生活を送ることができるご利用者と、職員による生活支援を必要とされるご利用者が混在して生活されている

↓

フロア環境の方向性に統一感があまりない

↓

ご利用者に困惑や戸惑いを生じさせ、生活をしづらくさせているのではないかと

環境づくり実施前の職員アンケート

手厚い介護を必要とされるご利用者が両グループにいらっしゃる

↓

食事、入浴、排泄介助などの生活支援で日常業務が終わってしまう

↓

生活面ではほぼ自立されているご利用者が、楽しみを持って生活できる環境が提供できていないのではないかと

職員間での話し合い

歩行における自立とは
独歩もしくは見守りにて安全に歩行することができる

日常生活における自立とは
自立もしくは一部介助にて着替え、食事、排泄を行うことができる

↓

自立度の観点からグループを再編成し、それぞれのリビングでそれぞれのグループにあった環境づくりを行う

ひなたグループ(自立度の高いグループ)
家庭の生活習慣が継続できる支援をしたい
↓
キッチンリビングに設置し、家事仕事をしていただきたい

なごみグループ(自立度の低いグループ)
ご利用者のペースに合わせた食事や排泄への支援を行いたい
転倒事故をなくしたい

事前調査

グループホーム ひまわり 

特別養護老人ホーム 松籟荘 

認知症介護研究・研修東京センター 



環境づくりからのアプローチによる個別ケアへの取り組みとは

環境を活用して、ご利用者に継続的に支援する
ひとりひとりのご利用者の目線に立って考え、実行する

↓

ご利用者に充実した個別ケアを提供できる

ひなたキッチン

なごみリビング
リフォーム

センター方式

- B-3 私の暮らし方シート
- B-4 私の生活環境シート
- D-1 私ができること・できないことシート
- D-2 私がわかること・わからないことシート



センター方式

D-4 焦点情報
(24時間生活変化シート)

時間	活動	場所	参加者	備考
00:00				
01:00				
02:00				
03:00				
04:00				
05:00				
06:00				
07:00				
08:00				
09:00				
10:00				
11:00				
12:00				
13:00				
14:00				
15:00				
16:00				
17:00				
18:00				
19:00				
20:00				
21:00				
22:00				
23:00				
24:00				

* 自立度が高いグループ

ご利用者が楽しみや目的を持って日中を過ごしていただけるようになった

認知症による周辺症状は、興味の対象を家事仕事に向いていただくことで概ね減少した

* 自立度が低いグループ

個々のご利用者に合わせたペースの排泄、食事介助を行えるようになり、転倒リスクも低下した

* 職員の環境づくりへの意識

ご利用者一人一人の有する能力を活用できることや、個々のご利用者に合わせたケアにつながることに気づき、環境づくりの重要性への意識が向上した



